

地域経済活性化のために寄付

協同組合岐阜県可児工業団地管理センターから、市政発展、地域経済活性化施策で活用するために、100万円を寄付していただきました。

理事長の山口正裕さんは「可児工業団地の環境を整備していただき感謝している。住みごこち一番・可児の実現のため、地域経済活性化施策に役立ててほしい」と話しました。



4/13



公民連携で市の魅力発信

株式会社リトルクリエイティブセンターと連携協定を締結しました。SNSで市の魅力を発信し定住者の増加につなげ、東京のお店で特産品の販売をし認知度向上を図ります。

代表取締役の今尾真也さんは「民間の強みを生かして人口増加などの手助けをし、地域活性化に貢献したい」と話しました。

温室効果ガス削減に向けて

東邦ガス株式会社とゼロカーボンシティの実現に向け連携協定を締結しました。

市民が太陽光発電設備などを設置することで削減したCO₂を東邦ガス株式会社に取りまとめて収益化し、市の環境政策などに活用します。また、市民の環境意識の向上や行動変容のため、教育や講座を実施します。



4/21

4/23



専門性を生かし、いじめを解消

通報や相談を受けたいじめについて専門家が客観的な調査、調整を行う「可児市いじめ防止専門委員会」から、令和7年度の活動報告がありました。

委員長の橋本治さんは「いじめの件数が増え、深刻化している。各団体との連携を密にし、専門性を生かした助言や啓発活動など積極的に取り組みたい」と話しました。